

各 位

2021年4月9日

株式会社イオンファンタジー

代表取締役社長 藤原 信幸

(コード番号 4343 東証第一部)

常務取締役 管理統括兼

リスクマネジメント担当 新田 悟

(電話 043-212-6203)

特別利益、特別損失及び法人税等調整額（益）の計上に関するお知らせ

当社は、2021年2月期（2020年3月1日～2021年2月28日）の連結決算及び個別決算におきまして、下記のとおり特別利益、特別損失及び法人税等調整額（益）を計上することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上について（連結・個別）

新型コロナウイルス感染症の影響により、ショッピングセンターの店舗賃貸人から免除された家賃相当額を「店舗家賃免除益」として国内事業 956,042 千円を特別利益に計上いたしました。また新型コロナウイルス感染症の影響に伴う特例処置として店舗を一時休業中に発生した人件費に対して申請受給した金額を「雇用調整助成金」として国内事業 505,880 千円、アセアン事業 21,260 千円、連結合計 527,140 千円を特別利益に計上いたしました。

2. 特別損失の計上について（連結・個別）

新型コロナウイルス感染症による店舗の臨時休業期間中の固定費を、「店舗休止損失」として国内事業 2,629,348 千円、中国事業 656,139 千円、アセアン事業 1,250,440 千円、連結合計 4,535,927 千円を特別損失に計上いたしました。その主な内訳は、臨時休業期間中における店舗の人件費、地代家賃、減価償却費及び店舗維持費等によるものです。

また不採算店舗及び店舗閉鎖に伴う減損損失を国内事業 29,330 千円、中国事業 167,662 千円、アセアン事業 576,491 千円、連結合計 773,484 千円計上いたしました。

3. 関係会社出資金評価損及び関係会社事業損失引当金繰入額の計上（個別）

当社が保有する連結子会社への出資金について、帳簿価格に対して実質価格が著しく下落し、当面の回復は難しいと判断したため減損処理を行い、この結果個別決算において関係会社出資金評価損 2,900,220 千円を特別損失に計上いたしました。

また子会社の財政状態の悪化に伴い、関係会社事業損失引当金繰入額 744,890 千円を特別損失に計上いたしました。

4. 法人税等調整額の計上について（連結・個別）

当期の業績を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、回収可能性が見込まれる部分について、「法人税等調整額（益）」として国内事業 2,201,150 千円、アセアン事業 185,701 千円、連結合計 2,386,852 千円を計上いたしました。

5. 業績に与える影響

上記の特別利益、特別損失及び法人税等調整額は、本日公表の「2021年2月期 決算短信 [日本基準] (連結)」に反映しております。なお、当該関係会社出資金評価損及び関係会社事業損失引当金繰入額につきましては、連結上は消去されるため、連結業績への影響はございません。

以 上